

全鉄連流通動態調査結果表 2021年12月分

(2022. 1. 27)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		11月実績	前月比	12月実績	前月比	12月実績	前月比	12月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	5,684	98.8%	34,525	90.8%	34,589	90.8%	5,620	98.9%	
	大阪	2,359	90.3%	15,448	93.4%	15,729	93.7%	2,078	88.1%	
	愛知	3,977	103.2%	4,275	115.2%	4,087	113.9%	4,165	104.7%	
	計	12,020	98.4%	54,248	93.1%	54,405	93.0%	11,863	98.7%	
鋼	山形鋼	東京	17,825	100.5%	8,122	96.7%	8,184	98.4%	17,763	99.7%
		大阪	22,172	103.6%	9,080	94.2%	8,036	90.7%	23,216	104.7%
		愛知	7,766	107.6%	5,523	116.1%	4,091	97.2%	9,198	118.4%
		計	47,763	103.0%	22,725	99.7%	20,311	95.0%	50,177	105.1%
	溝形鋼	東京	14,565	101.3%	6,777	104.1%	5,880	93.0%	15,462	106.2%
		大阪	13,638	112.5%	6,369	83.5%	5,579	91.4%	14,428	105.8%
		愛知	5,736	120.9%	4,190	96.4%	3,474	103.5%	6,452	112.5%
		計	33,939	108.6%	17,336	93.8%	14,933	94.6%	36,342	107.1%
	H形鋼	東京	31,946	102.5%	18,207	103.5%	16,477	97.9%	33,676	105.4%
		大阪	45,247	100.0%	24,762	97.6%	22,034	86.9%	47,975	106.0%
		愛知	13,739	127.2%	11,530	92.9%	8,188	86.5%	17,081	124.3%
		計	90,932	104.3%	54,499	98.4%	46,699	90.4%	98,732	108.6%
合 計		172,634	104.7%	94,560	97.8%	81,943	92.3%	185,251	107.3%	
コ ラ ム	東京	6,902	98.3%	2,837	114.1%	2,110	81.0%	7,629	110.5%	
	大阪	12,507	121.3%	3,356	59.5%	2,958	86.0%	12,905	103.2%	
	愛知	1,504	108.7%	1,041	76.3%	827	66.5%	1,718	114.2%	
	計	20,913	111.7%	7,234	76.3%	5,895	80.9%	22,252	106.4%	
軽量C形鋼	東京	3,376	98.3%	1,856	112.6%	1,649	96.5%	3,583	106.1%	
	大阪	3,116	93.9%	1,413	89.6%	1,409	79.2%	3,120	100.1%	
	愛知	2,823	106.8%	1,226	83.2%	1,044	80.7%	3,005	106.4%	
	計	9,315	99.1%	4,495	95.7%	4,102	85.8%	9,708	104.2%	
総 計		214,882	104.7%	160,537	94.9%	146,345	91.8%	229,074	106.6%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 **東京30 大阪18 愛知12 合計60社**

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

[調査内容変更について]

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。